

大谷

HAKODATE OTANI



函館大谷学園報
2024 July

vol.29



「ともに」

学校法人 函館大谷学園 理事長 門 間 佳 一

気候も暖くなり天気の良い日は窓を開けることも多くなりました。学園内では生徒や園児たちの明るい声が時折聞こえてきます。なかでも園児たちの♪わたくしたちは♪という歌声は可愛らしくてつい笑顔になります。♪わたくしたちは仏様を拝みます わたくしたちは先生のお話を良く聞きます わたくしたちはみんなと仲良く遊びます♪、日常での歌ですが、これらを言葉だけにしたもので《おちかいのことば》というものがございます。「わたくしたちは 仏の子どもになります。」「わたくしたちは 正しい教えを聞きます。」「わたくしたちは みんな仲良くいたします。」という三句であります。これは三帰依文^{さんきえもん}と言いまして、仏・法・僧^{さん が き え}（僧伽）の三宝に帰依するというお釈迦様以来の仏教に由来いたします。釈尊（お釈迦様）教団に入る時に、この三宝に帰依する誓いをたてられ、仏弟子・仏教徒のしるし・決意にされたのです。

三帰依文に係るお話で、東本願寺出版より刊行されております『ともしび』に、本年一月号として、前大谷専修学院長・狐野秀存師の日曜講演での講話が掲載されておりました。冒頭にご本山の集まりで、大谷暢裕現門首（本山のご住職）のご挨拶されたお言葉が紹介されており、その言葉を通して狐野師が受け止められたことから始まっております。

一部抜粋いたしますと、「〈……これからはご門徒の方々とともに、「衆生^{しゅじょう}とともに」という言葉を大切にしたい〉と言われました。そのご門首の挨拶の中の「衆生とともに」という言葉が、私のこころに残りました。……繰り返し、繰り返しこの「衆生とともに」という言葉が「三帰依文」に出てくるわけです。」とあり、ご門首の言葉に気付かされた事柄として、「…それは、仏に帰依し、法に帰依し、僧に帰依するという、この仏法僧の三宝に帰依するという仏弟子・仏教徒のしるし・決意に「衆生とともに」とい

う言葉が添えてあるということです……」と抑えられております。さらに「……私どもの身近なことで言えば、そのお釈迦様の教えを親鸞聖人の言葉を通して確かめていく、その仏弟子・仏教徒のしるしとして一番根本のことなのだと。そのことを、ご門首は言外におっしゃったのではないかなと思って聞いておりました。」と話され、「……「衆生とともに」ということを平易な言葉で言えば、「われもひと、ともに」ということです。私どもがこころの底から願っていることは、われもひとみな、---事実、ともに生きているわけですから、そのいのちの事実をしっかりと受けとめるということ。自分自身のかけがえのない人生を「われもひと、ともに」といういのちの事実にしたがって生きていきたいということ。それが私どもの一番深い願いであり、それはいのちそのものの願いだと、こう言ってよろしいかと思います。」ということで、その一節をまとめられておられました。

園児たちが唱和していること、私どもが三帰依文を唱えること、その事が「私どもの一番深い願いであり、それはいのちそのものの願い」であると、狐野師はおっしゃいます。

本学園の存在意義が「親鸞聖人の「み教え」を基にした人間教育」という精神に樹つものであり、それを立脚地とした「報恩感謝：「生かされている自分」の存在に気が付き自然や社会の恵みに感謝しよう。」「言行一致：自分の行いに責任を持ち、人格形成に努力しよう。」「親愛礼讃：かけがえのない「いのち」をお互いに尊重しよう。」「和衷協同：互いに信頼しあい心を同じくして共に力をあわせよう。」との学園訓に、園児・生徒・職員はじめ、学園に関わるすべての人が、ともに歩みを寄せて本願念仏に、たずねつくられ続けていく学園としての足跡を、次世代へ残してまいりたいと深く思念いたし、環境を整えていく所存であります。

短期大学

ひとと ずっと いきいきと

久しぶりの谷短祭

2023年10月27日に谷短祭が行われました。オープニングは学友会によるダンスにはじまり、楽器経験者によるミニコンサートや、有志学生の一発芸といった出し物がつぎつぎに披露されました。どの出し物も学生のがんばりに拍手喝采です。その後はビンゴ大会。キッチンカーの券やお菓子など、もらえたプレゼントを友達と見せあって喜びあいました。外にはキッチンカーが勢揃いしていて、どの料理も美味しそうで目移り。キッチンカーには、地域のみなさんもお越しくださいました。同時に、学生のカラオケ大会もあり、美声でのカラオケに驚きませんでした。暗くなってから花火大会も行われ、楽しい時間は一瞬で終わりを迎えました。



サークル活動

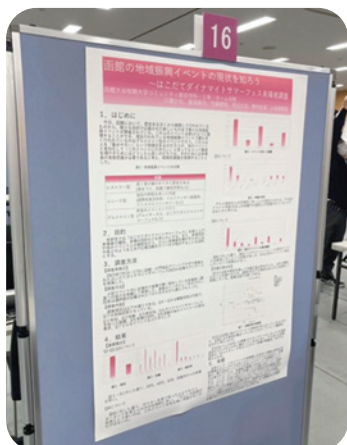
谷短といえば「光る影絵サークル」が思い浮かぶ方も多いのではないのでしょうか。当サークルは令和5年度で25周年を迎え、活発な活動が引き継がれています。附属園や本学での公演に加え、12月には毎年恒例である函館市中央図書館での上映会も開催しました。暗闇で浮かび上がる幻想的で心躍る演目をたくさんの方に楽しんでいただいています。

また、ラジオ放送局FMいるかに出演する「ラジオサークル」も活躍中です。ラジオ番組「キャンパスデイズ」の生放送にパーソナリティの一員として出演しています。さらに、Instagram「ひょうたんベイビーの日常」の運営も手掛けており、函館市近郊の様々な情報を発信しています。



コミュニティ総合学科の研究報告

2023年11月3日に函館アリーナで開催された「HAKODATE アカデミックリンク2023」にコミュニティ総合学科(現・ビジネス情報学科)1年生が参加しました。このイベントは函館市内にある8つの大学、短大、高専をはじめ函館市内の高校生、他地域の大学生や企業が研究発表を通じて交流する場として、昨年4年ぶりに対面開催されました。参加した学生は、地域活性化プロジェクトの授業内で実施した地域イベント参加者への意識調査の結果をポスターにまとめて研究報告を行いました。普段の研究報告は学内で行いますが、学外の方々へ自分たちが計画実施した研究を報告し、ご質問やご意見をいただく機会はとても良い刺激を受ける有意義な経験となりました。



こども学科音楽の授業紹介

こども学科では、2年間を通し音楽の授業でピアノ、歌、環境音、合奏、リトミックなど様々な音楽表現を学んでいます。学生たちは、歌を歌う、楽器を演奏する、身体を動かす、音楽を聴く、音楽をつくるなどの子どもの音楽表現活動を、保育者として援助するために、日々励んでいます。

2023年度1年生の授業を紹介します。1年生では主に音楽の理論、ピアノ演奏、歌の歌い方を基礎から学びました。ピアノ演奏では1人1台電子ピアノに座ることができる教室で授業を受けました。入学時に半分以上がピアノ初心者でしたが、少しずつ練習を重ね、1年間で生活の歌や季節の歌などの子どもの歌を、ピアノで弾き歌いの発表ができるまでに上達しました。





THE DAY SURELY COMES ～その日はきっと来る～

校長だより

校長 丸山 政秀

携帯電話が普及してから写真や動画を撮ることは日常のことになり、SNSの利用も相まって情報は一気に世界中へと広がっていく。スマホもSNSも非常に便利なものである。その反面、その危うさにはなかなか目を向けられていないのが現実である。

先日、車と自転車が交通ルールをめぐってもめた様子が映されたドライブレコーダーの映像が目に入った。映像を見る限り、間違っているのは自転車側である。SNSに投稿された動画はあっという間に拡散され、自転車の人物の名前や住所などをはじめとした個人情報が特定されネットに晒される事態にもなった。

当然、悪いことをすることは良くはない。特に人の尊厳を貶めようとする行為は許されるものではない。しかし、私たちだって時に感情的になり、自分の価値観で攻めてしまい、間違ってしまうことがあるのではないだろうか。

「そうだ 嬉しいんだ 生きる喜び たとえ胸の傷が痛んでも 何のために生まれて 何のために生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ」(参照:アンパンマンのマーチ)

人を信じ期待するのは時として馬鹿を見るのかもしれない。でも、時には呆れながらも一つの命(心)と真正面から向き合い、受け止めていく。そんな生き方ができたらいいと思う。

青稜祭・競技大会

生徒会長 齊藤 柊花

昨年の青稜祭は「ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー」の公開をきっかけに、マリオをテーマに装飾や動画制作を行いました。長い廊下では少しでもゲームの世界観を味わえるよう、BGMを流すなどの工夫をしました。

コロナ禍が終わり、模擬店では実際に作った料理を提供できるようになりました。久しぶりに大勢の人が動くということで不安も沢山ありましたが、生徒会としてみんなの青春のお手伝いできたのではないかと思います。



昨年の経験を生かして、今年の青稜祭もより思い出に残るようひとりひとりが協力しあって作り上げていきたいです。



競技大会は例年千代台陸上競技場で行われていますが、昨年は悪天候などの影響により体育館で行われました。

室内でできる競技が限られている中、玉入れや大縄跳び、ドッジボールなどを行いました。

3年生のみなさんの「全力で楽しんでいる姿」「周りを盛り上げる姿」を見て、改めて3年生を引き継いで頑張りたいと思いました。

今年の競技大会がどのような形で行われても、先生方や生徒会メンバー、全校生徒が「ワンチーム」となって楽しみたいと思います。

函館大谷高校に勤めて

教諭 高橋 海星

初めまして、皆さん。高橋海星と言います。高校進学を控え、オープンキャンパスや部活動体験を通じて、この学校に進学したいと感じ、高校3年間を函館大谷高校で過ごしました。その間、函館大谷高校の先生方の生徒に寄り添い

熱心に指導してくれる姿勢に触れ、「いつか函館大谷高校に戻って教員生活を送りたい」という思いを強く抱きました。2022年に時間講師として、2023年からは教諭として勤めることになりました。私が教員として心がけているのは、「生徒たちが函館大谷高校に来てよかったと思える環境を作ること」です。その実現には多くの難しさが伴いますが、成長し、力をつけていく覚悟です。皆様のご指導をいただきながら、一歩ずつ前進していきたいと思っています。



附属認定こども園

笑顔あふれる楽しい毎日!!
みんないっしょにおおきくならろう!



やってよかったECEQ!!



園の良さや課題を明確にし、よりよい保育を追求するために『ECEQ研修』に取り組みました。ECEQとは…! 公開保育を通し、他園の先生方と意見交流を行い保育の質の向上を図るもので、5つのSTEPを経て研修を行います。

STEP1・2では、コーディネーターの先生と共に園の良さや課題を見つけ、STEP3では、保育の中の課題や悩みなどについて話し合いました。その後迎えたSTEP4では、「公開保育」を行い、のびのび遊びを楽しむ姿、じっくり遊びに取り組む姿、また、子ども同士で遊びを進める姿など、たくさんの経験をしてきたありのままの子どもたちを見てもらいました。参加の先生方から、生き生き遊び込む子どもたちの良かったところや、それぞれの園での様子や工夫していることなど、各園での保育の取り組みについても意見交流を行いながら学びを深めることができました。STEP5では、改めて職員間で保育を振り返り、子どもたちの主体性を引き出すための環境、友達や異年齢とのかかわりによる育ち、職員間での保育観の共通理解など、保育の質の向上のために多くの学びがありました。

公開保育を通し、子どもたちの感性の豊かさや生き生きと遊び込む姿に、子どもたちの育ちを再確認でき、「保育が楽しい!」と改めて感じる貴重な体験となりました。



親子レクリエーション☆

子どもたちに大人気のパウパトロールをテーマにした親子レクリエーションを行いました! カードめくりでは、パウパトに変身し、親子で一緒にゴールをめざして協力し合う姿がありました。

チェイスとマーシャルの2チームに分かれたチーム対抗リレーでは、乗り物に乗った子どもたちを保護者の方が一生懸命に引っ張り、白熱した戦いが見られましたよ!

2歳児になると、小さいお友達のお手本となって、体操を踊ったり、「1番になりたい!」という気持ちをもって競技に参加したりする姿が見られていました。最後は、お父さんがかわいい3匹のこぶたに変身し、オオカミのお面をつけた子どもたちと一緒に「オオカミさん」の曲に合わせて踊りました。とっても踊りが上手なこぶたさんたちでした。

保護者の方や先生たちと一緒に、体を動かし、触れ合いを存分に楽しむことができた素敵な1日になりました。



♪音楽発表会♪

コロナが第5類となり、少しずつ音楽に触れる機会を設け、学年ごとに発表会を行いました。全身を使ったりリズム遊びを親子で楽しんだり、日頃楽しんでいる手遊びや歌を発表したり、初めての楽器に挑戦するなど、学年に合わせた音楽との触れ合いを楽しんでいる姿が見られました。

年長組は、優しい声を意識しながら、気持ちを込めて歌を保護者へ届ける様子や、ハンドベルの綺麗な音の響きを感じながら自信をもって発表する姿が見られました。音楽を通して、様々な表現だけでなく、友達とのつながりや感性を豊かにさせることができ、これからも、こども園にいろいろな歌声が響くことを楽しみにしています♪



松前認定こども園

はじける笑顔 松前っ子！！ みんなともだち。この指と～まれ！！



音楽のおくりもの

松前こども園の遊戯会は、以上児の歌と合奏から始まり、一生懸命練習したお遊戯を順番に披露して、最後は年長組のハンドベル演奏で締めくくります。

秋に運動会を終えた園の中には、楽器や小道具が並び、子どもも大人も遊戯会に向けて気持ちを合わせ、毎日準備と練習に取り組んでいます。

令和5年度の遊戯会は、うどん屋さんやアイドル、スーパーサイヤ人など、各クラスの個性が大爆発していました！

また松前では毎年、年長組の男児はカッコいい袴姿で踊ります。気持ちも表情もキリッと「じょんから女節」を披露しました。

舞台に立つ姿はもちろんですが、舞台袖で友達や先生と待っている、緊張と期待が混じったあの表情が、何よりも輝いているなと思わずにはいられません。子どもたちにとっても先生にとっても、1年の集大成となりました。



花まつり



毎年5月4日は、松前仏教会主催の花まつりが行われています。昨年はコロナが5類に移行したこともあり、久々の稚児行列。天気にも恵まれ、花まつりに参加した子どもたちは、稚児衣装を身に付けたり、化粧をしたりと、ドキドキしながら準備をしているようでした。素敵な稚児衣装に着替えて集合写真を撮り、その後、保護者の方が見守る中、松前公園の周辺を友達と手を繋いで一緒に歩き、子どもたちもにこにこと嬉しそうにしていました。稚児行列の後は、光善寺本堂で合掌をしたり、一人ひとり丁寧に気持ちを込めて灌仏を行ったりしていました。真剣な表情でお話を聞く姿も見られ、最後までお釈迦様の誕生をお祝いすることが出来ました。

また、今年の5月14日には、松前こども園でも花まつりを行いました。福島憲成前園長先生より花まつりのお話を聞き灌仏をしたり、お釈迦様の誕生物語の絵本を見たりしました。最後に子どもたちは甘茶も飲んで嬉しそうにしていました。



鬼は外♪福は内♪

2月2日の豆まきは各クラスで作った、鬼のお面、豆入れを持って、遊戯室で行いました。「鬼は外～♪福は内～♪」と元気に歌を歌いスタートしました。

豆まきをする理由や大豆についての話を聞いてからいよいよ豆をまいたり、拾ったりしましたが、実は豆ではなくハイチュウやチョコ玉、飴などのお菓子を年長組が撒き、一心不乱に拾っていましたよ。

例年、子どもたちが鬼(先生)に豆をぶつける豆まきをしていましたが、今回は趣向を変えて、【恵方巻き運びリレー】をしました。小さい組は小さな恵方巻きを持って走り、3、4、5歳児は2人でペアになり、大きな大きな恵方巻きを運びました。途中落ちてしまう事もありましたが、周りから「頑張ってー」と応援する声が聞こえてきて、最後まで張り切っていましたよ！

豆まき前日、鬼が怖くて不安そうな表情をしている子もいましたが、終わってみると満足している子もたくさんでした。これからも日本の文化を大切にしながら、色々な形式で豆まきを楽しめて行けたら良いなと思いました。



大野幼稚園



遊びが基本!! 自然あふれる幼稚園 心も身体ものびのびと…



みんなと最高の思い出を…★

令和5年7月21日(金)に年長組のみで1年に1回の大行事でもある、年長組保育を行いました。

5月下旬から子ども同士で話し合う【こども会議】を行い、行きたいところ、やりたいことを話しました。「さすが年長だね!」と思う場面も見られ、やりたいことだけで終わるのではなく「○○だからできないね」など生き生きとしながら決めていましたよ♪

当日は天候にも恵まれ、近場のスーパーまで散歩しながら夕食の食材を買いに行き初めてのクッキングや、ひろ〜い園庭で食べた美味しい流しそうめん。函館公園で遊んだり、夜は花火を見たりと朝から夜まで特別な1日を過ごすことが出来ました♪



運動会

第55回運動会は、3年ぶりに市渡小学校のグラウンドで行い、天気も味方してくれて、無事に開催することができました。子どもたちは市渡小学校の広いグラウンドで、のびのびとかけっこ・遊戯・リレー等の競技を最後まで力を出して頑張りました。



当日は、子どもの競技や遊戯、お父様方のリレーを取り入れたプログラムとさせていただき、満3歳児・3歳児・4歳児・5歳児それぞれの年齢による発達の様、そして、一人ひとりの成長した姿をたくさん見ることができ、子どもたちも大いに張り切っていましたよ♪グラウンドで活躍する子どもや保護者の姿に拍手や声援が送られ、会場全体が一つになって、素晴らしい1日となりました☆



大野農業高校でりんご狩りをしました!

大野幼稚園では、年長組を中心に大野農業高校の学生との交流を多く取り入れています。昨年度は、初めて大野農業高校でりんご狩りを行いました。大野農業高校の先生から、正しいりんごの収穫の仕方を教えてもらいました。普段と違う雰囲気になっぴり緊張気味のみんなどではありましたが、真っ赤なりんごを収穫するために、しっかりと話に耳を傾ける姿が見られていましたよ!

りんご狩り当日も学生がお手伝いに来てくれて、大喜びの子どもたち♪木の高い所にあるりんごを、お兄さん・お姉さんに抱っこしてもらい、一緒に収穫する姿も見られていましたよ! 今後も、大野農業高校との交流を深めながら、楽しい経験を一緒にできればと思っています。



港認定こども園



かわいい笑顔と笑い声
みんないっしょでたのしいね！



立派な一年生になります！

3月8日、春の訪れを感じる暖かな日差しを受け12名の卒園児が登園してきました。いつもと違う装いで「緊張するね」と話していましたが、今までの行事でのドキドキしている様子ではなく、自信を感じる表情でした。入場も保育修了証書授与も堂々としていて、とても立派でした。お別れの言葉や歌の練習では泣いてしまうこともありましたが「みんなで同じことをするのはこれで最後だから泣かないで歌おう！」と話し合い、みんな笑顔で歌うことができました。締めくくりはお母さんへのサプライズ。「おいしいごはんを作ってくれてありがとう」「小学校に行っても頑張るね」などと、感謝の気持ちを伝えて花束を渡し親子で退場しました。笑顔あり、涙ありの感動的な保育修了式でした。

好きな遊びの時間も12名で同じ遊びをするほど仲の良かったさくら組さん。赤ちゃんから過ごしたこども園を元気いっぱいに巣立っていきました。



赤ちゃん、毎日成長中！

生まれて初めての集団生活で、赤ちゃんは不安でいっぱいです。日々、抱っこなどスキンシップをとりながら赤ちゃんの気持ちに共感し、丁寧に関わり、安心して過ごせるように心がけています。0歳児は1年の成長のスピードが早く、ハイハイやつかまり立ち、歩行の始まりなど、たくさんの初めての場面に出会うことができ、喜びいっぱいの毎日です。一人ひとりそれぞれのペースに合わせ笑顔で毎日過ごせるよう保育をすすめ、保護者の方と一緒に子どもの成長を見守っています。



「子育てサロン」～親子の集い～

港認定こども園に併設されている函館市地域子育て支援拠点「大谷港子育てサロン」は、毎年多くの子育て中の親子が気軽に集い、遊びに来て、お子さん同士で遊んだり、子育て中の親同士でおしゃべりを楽しんだりしています。土地柄もあり、転勤族の方も多く、知らない土地での子育てに不安を抱えている中でサロンを訪れ、同じ悩みをもつ親子が出会い、育児の相談を通して交流する場となっています。プログラムとしては、自由開放・育成サークルの他に月に1回ミニ講演会を行っており、講師を迎えてのふれあい遊びや親子で一緒に楽しめる催し物を企画し、開催しています。





令和6年附属認定こども園の花まつり

編集後記

この編集が始まったのは5月初旬頃。先生方や職員の皆様も新年度ということで、それぞれ少しずつ環境が変化し、今では新しい環境にだいぶ慣れてきた頃でしょうか。

皆様のお力添えがあり、今回の学園報も無事に学生・生徒・園児たちの笑顔や特色溢れる記事でいっぱいになりました。今後も函館大谷学園の様々な特色をこの学園報でお伝えしていき、“大谷”の中で共に育ち合う学生・生徒・園児の姿を見ていただくきっかけの一つになれば幸いです。

発行にあたり、執筆・ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

(大野幼稚園 安田 楓加)

◎ご意見募集…みなさまのご意見、ご感想をお寄せくだされば、うれしく思います。

題 字 理事長 門間 佳一

発 行 学校法人 函館大谷学園

編 集 学園報編集委員会

〒041-0852 北海道函館市鍛冶一丁目2番3号

TEL 0138-51-5614 FAX 0138-52-6494

E-mail honbu@hakodate-otani.ac.jp

編集委員 樋口 也寸志 佐渡 敦美 小町 唯信 福田 理沙 土谷 育代

今在 景子 木戸口 靖之 柴田 朋恵 佐藤 菜摘 安田 楓加

吉村 結奈

表紙写真 令和6年大野幼稚園の花まつり

情報公開

当学園の財務情報等については、公式ウェブサイトで公開しております。
<http://www.hakodate-otani.jp/finance.php>





学校法人 函館大谷学園

〒041-0852

北海道函館市鍛冶1丁目2番3号

TEL 0138-51-5614 FAX 0138-52-6494



函館大谷短期大学

〒041-0852

北海道函館市鍛冶1丁目2番3号

TEL 0138-51-1786 FAX 0138-52-6494



函館大谷高等学校

〒041-0852

北海道函館市鍛冶1丁目2番3号

TEL 0138-52-1834(代表) / 0138-52-0228

FAX 0138-52-1853



函館大谷 短期大学附属
認定 こども園

〒041-0852

北海道函館市鍛冶1丁目2番3号

TEL 幼稚部:0138-56-1038 / 保育部:0138-30-8771

子育て支援:0138-30-8775 FAX 0138-56-1039



まつまえこどもえん
函館大谷短期大学附属松前認定こども園

〒049-1505

北海道松前郡松前町字博多226-16

TEL 0139-42-3944 FAX 0139-42-5519



函館大谷短期大学附属

大野幼稚園

〒041-1242

北海道北斗市市渡506-8

TEL 0138-77-9275 FAX 0138-77-9273



函館大谷短期大学附属

港認定こども園

〒041-0821

北海道函館市港町1丁目25番1号

TEL 0138-83-2412 FAX 0138-83-2413

大谷港子育てサロン:TEL 0138-83-5377